

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		岩手県農業会議賛助拠出事業			事業コード	1140
担当課等	所属名	農業委員会事務局		担当係名		
	課長名	農業委員会事務局	農業委員会事務局	担当者名	立花 政志	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 1目 総務事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和29年度～)		
事務事業の概要	農民の地位向上に寄与することを目的で設立された岩手県農業会議に対する負担金の額の拠出事務					
根拠法令等	農業委員会等に関する法律第44条, 第45条 岩手県農業会議会則第13条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
岩手県農業会議は、農民及び農業の立場を代表する組織として、また、農業生産力向上と発展、農業経営合理化等農民の地位の向上に寄与する目的で昭和29年8月16日に設立されたもので、盛岡市農業委員会は設立当初から会の運営に参画している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
農政の変革期に対応するため、農業会議は農業委員会系統組織の取りまとめ機関として重要な役割を果たしている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	岩手県農業会議	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 賛助団体数	単位	団体
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 拠出金の負担 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 拠出金の負担	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 負担金	単位	千円
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	農民の地位向上に寄与する目的を推進	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 行政庁に対する建議等実施業務	単位	数
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】		
				B.	単位	
	【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】					
	C.	単位				
	【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】					
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位: 人)		
				農業純生産額(単位: 百万円)		
				林業純生産額(単位: 百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	賛助団体数	団体	50	49	49	49	49	49	24年度 49
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	負担金	千円	1093	1101	1084	1083	1101	1101	24年度 1101
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	行政庁に対する建議等実施業務	数	3	5	3	6	3	3	24年度 3
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,093	1,101	1,084	1,083	1,101	1,101	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円		1,101	1,084	1,083	1,101	1,101	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,093	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,093	1,101	1,084	1,083	1,101	1,101	*****
	延べ業務時間数	時間	1	1	1	1	1	1	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4	4	4	4	4	4	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,097	1,105	1,088	1,087	1,105	1,105	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 農業会議は農業委員会系統組織の取りまとめ機関として各種情報の発信源であり、農民の地位の向上を図ることができる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 農業委員会及び農業会議は、農業に関する専門的知識及び情報を有し、農民・農業の立場を代表する組織である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 拠出先は、岩手県農業会議だけである。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 各市町村の農業委員会の他、賛助団体が共通の意図をもって賛助金を拠出し、事務を執行している。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 行政に対する建議等は、各課題に対して適切に行なわれている。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 国等からの最新の情報の入手が困難となるとともに、農業関係団体、農業団体等との連絡調整等が困難となり、一丸となつての活動に支障が生じる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 運営経費としての拠出金であり、妥当である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 拠出金の支出手続きに要する時間だけであり、削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 賛助団体が公平に受益機会を有している。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 拠出金の算出方法及び金額は、賛助団体が参加する総会で決定される。

